

官  
佛  
蘭  
西  
刑  
法

五

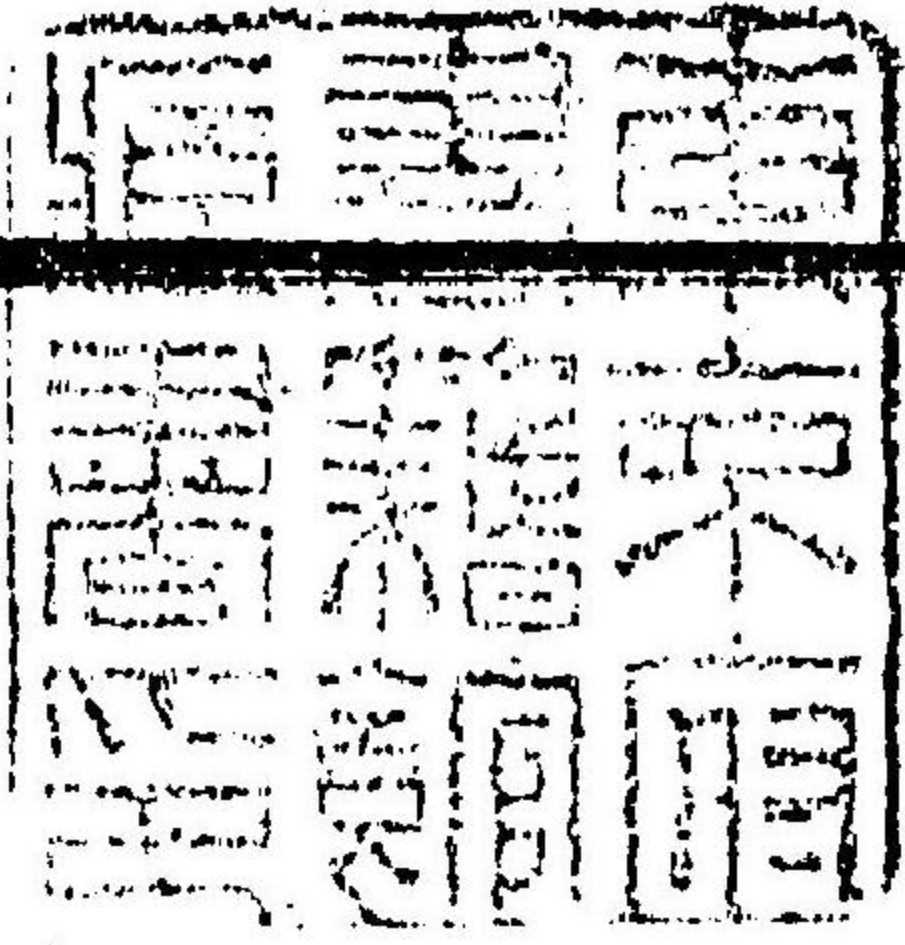
東 京 圖 書 館	
刑 法	刑 法
第 一 部	第 一 部
第 一 卷	第 一 卷

CF2  
3  
07

共  
五  
本



CF2  
3  
07



中博士箕作麟祥口譯

明治九年文部省發行

◎第二款 家資分散ノ事偽ヲ用ヒ人

ヲシテ金ヲ出サシメ其金ヲ竊取  
スル事其他偽計ノ種類

○第一節 家資分散ノ事偽ヲ用ヒ

人ヲシテ金ヲ出サシメ其金ヲ  
竊取スル事



第四百二條 商法ニ記載スル場合ニ於テ家資  
 分散ヲ為スノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ刑ニ處  
 セラル可シ  
 故ラニ他人ノ金銀ヲ竊取セント欲スルノ意ヲ  
 以テ偽テ家資分散ヲ為タル者ハ有期ノ徒刑  
 ニ處セラル可シ  
 故ラニ他人ノ金銀ヲ竊取セント欲スルノ意ナ  
 ク過咎ニ因テ家資分散ヲ為タル者ハ一月ヨ  
 リ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ  
 刑ニ處セラル可シ

第四百三條 商法ニ記載スル所ニ循ヒ故ラニ他  
 人ノ金銀ヲ竊取セント為スノ意ヲ以テ偽テ  
 家資分散ヲ為シタル者ノ附従ハ其首謀ト同  
 刑ニ處セラル可シ

第四百四條 人ノ為メ貿易ノ牙保ヲ為ス者ノ  
 家資分散ヲ為タル時ハ有期ノ徒刑ニ處セラ  
 ル可シ若シ其牙保ヲ為ス者ニ於テ故ラニ他人  
 ノ金ヲ竊取セント為スノ意ヲ以テ偽テ家資  
 分散ヲ為タルノ證アル時ハ無期ノ徒刑ニ處  
 セラル可シ



第四百五條

千八百六十三年第五  
月十三日如左換フ 偽名ヲ用ヒ

又ハ偽ノ身位ヲ稱シ又ハ偽ノ起做無實ノ威  
權及ヒ偽ノ信據等ヲ人ニ證シ示ス可キ為メ  
詐計ヲ用ヒシ者及ヒ無實ノ成功無底ノ事故  
等ヲ希望シ又ハ人ヲシテ畏怖ノ念ヲ生ゼシ  
ム可キ為メ偽計ヲ用ヒテ人ノ所有スル金銀  
財産證券票子契約書<sup>簿</sup>還ノ證書等ヲ已ニ交  
付セシメ及ヒ交付セシメント為シ且其偽計  
ヲ以テ人ノ産業ノ全部又ハ一部ヲ竊取シ及  
ヒ竊取セント為シタル者等ハ一年ヨリ少カ

ラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處  
セラレ且五十フランクヨリ少カラス三千フ  
ランクヨリ多カラサル罰金ヲ言渡ヲ受ク可  
シ

且其犯人ハ其刑ヲ受シ日ヨリシテ五年ヨリ  
少カラス十年ヨリ多カラサル時間第四十二  
條ニ記シタル民權ヲ行フノ禁ヲ受ク可シ但  
シ此規則ト其犯人ノ贋造偽造等ノ重罪アル  
時更ニ重刑ニ處セラル可キ規則ト相抵觸ス  
ルトナカル可シ



○第二節 人ノ信ニ背ク事

第四百六條 幼者ノ急乏ノ心情欲等ニ乘シ其害トナル可キ方法ヲ用ヒ其幼者ヲシテ其金銀、動産及ヒ商業ノ證券又ハ其他ノ證券等ヲ貸與フルノ證書、算計書等ニ其姓名ヲ署セシメシ者ハ其契約ヲ結ヒタル時ノ方法及ヒ何如ナル口實アル等ヲ問ハス二月ヨリ少カラズ二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且其罪犯ノ為メ損害ヲ受タル者ニ償還ヲ為ス可キ總額ノ四分一ヨリ多カラス二十

五「ラン」ヨリ少カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ但シ此犯人ハ其上前條ノ次項ニ記シタル刑ヲ用フ可シ

第四百七條 自己ニ於テ委任ヲ受タル證券ノ其姓名ヲ署シタル餘白へ偽テ借入ノ證又ハ算還ノ證等ヲ記シ及ヒ其他其書へ姓名ヲ署シタル者ノ身體又ハ産業等へ對シ害トナル可キ證ヲ記シタル者ハ第四百五條ニ記シタル刑ニ處セラレ可シ  
若シ其證券ノ委任ヲ受サル者ノ其罪犯ヲ行



ヒレ時ハ贋造ノ罪アリト為シテ贋造ノ刑ニ  
處セラル可シ

第四百八條

千八百六十三年第五  
月十三日如左換フ 自己ニ於テ

借受<sup>アカリ</sup>受寄及ヒ典當ノ受寄又ハ借用或ハ雇直  
ヲ得タル操作及ヒ雇直ヲ得サル操作等ノ為  
メ又ハ還與ヲ為スノ約束及ヒ同價ノ物ヲ還  
與ス可キノ約束或ハ預定ノ用法ヲ為ス可キ  
為メ等ニツキ交付ヲ得タル證票、金銀、商品、證  
券、還與<sup>カ</sup>證書又ハ其他借受及ヒ算還等ノ證  
書類等ヲ其所有者ノ害トナル可キ方法ヲ以

テ竊取シ及ヒ費耗セシ者ハ第四百六條ニ記  
シタル刑ニ處セラル可シ

官署裁判等ニ管スル官吏ニ於テ前文ニ記セ  
シ人ノ信ニ背クノ罪ヲ犯シ又ハ僮奴、雇丁、弟  
子、書記官、家僮、工丁及ヒ期限ヲ定メ使役ヲ受  
ル僮奴等ノ其主ニ對シ其罪ヲ犯シテ害ヲ為  
タル時ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セ  
ラル可シ

但シ此規則ト第二百五十四條、第二百五十五  
條、第二百五十六條等ニ記載セシ官署ニ藏ス



ル金銀證書等ノ類ヲ竊取攘奪スルノ罪犯ヲ罰スルノ規則ト相抵觸スル事ナカル可シ

第四百九條 裁判所ニ於テ互ニ訴訟ヲ為シ證書及ヒ記單等ノ類ヲ造リシ後ニ何ノ方法ヲ論セス其證書及ヒ記單等ヲ竊取セシ者ハ二十五フランクヨリ少カラス三百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

但シ其刑ハ訴訟ヲ為タル裁判所ヨリシテ言渡ス可シ

○第三節 賭博場賑給場及ヒ典舖

等ノ規則ヲ犯ス罪

第四百十條 賭博場ヲ設ケ人ヲシテ自由ニ入ラシメシ者又ハ賭博場ニ管スル者ニ於テ唱<sub>ウ</sub>邀<sub>ウ</sub>ヲ為シ人ヲ入ラシメシ者及ヒ其賭博場ニ於テ賭博ヲ為ス者又ハ法律ニ於テ允許セサル賑給場ヲ設ケシ者及ヒ其場所ノ管當者又ハ其他管照ノ托ヲ得タル者等ハ二月ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且百フランクヨリ少カラス六千フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可



且其犯人ハ其刑ヲ受シ日ヨリシテ五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル時間第四十二條ニ記シタル民權ヲ行フノ禁ヲ受ク可シ何レノ場合ニ於テモ賭博及ヒ賑給等ニ用ヒタル金銀、證券、家具、器具及ヒ其場所ニ裝布、掛列シタル家具等ハ沒收セラル可シ

第四百十一條 相當ノ允許ヲ得スシテ典舖ヲ開キタル者又ハ允許ヲ得ルト雖モ法律ニ循テ剽白剽行等ヲキ典買ノ證書及ヒ其交付ノ

金額、品物又ハ其典主ノ姓名、住所、職業其他典賣ノ品物ノ性質、種類、價額等ヲ記載セシ簿冊等ヲ設ケサル者等ハ十五日ヨリ少カラス三月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且百フランクヨリ少カラス二千フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

○第四節 糶賣ノ自由ヲ妨クル事

第四百十二條 靜産土地家屋等ノ搬運ノ物ヲ云動産所有ト為スノ權、靜産、動産ヲ借受ルノ權、靜産、動産ヲ償ヲ收メテ貸與フルノ權、起做ヲ為ス



事食料ノ供給ヲ為ス事商社ヲ開キ及ヒ土地  
 ヲ開拓スル事等ニツキ為タル所ノ糶賣ノ自  
 由ヲ其糶賣ノ前及ヒ其時間等ニ於テ暴行脅  
 迫等ヲ用ヒ妨ケタル者ハ十五日ヨリ少カラ  
 ス三月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セ  
 ラレ且百フランクヨリ少カラス五千フラン  
 クヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ  
 贈遺及ヒ契約等ニ因リ糶賣ヲ為ス者ヲ其糶  
 賣ノ場所ニ至ルヲ止メシメシ者ハ同上ノ  
 刑ニ處セラレ可シ

○第五節 製造貿易藝術等ニ管ス  
 ル規則ヲ犯ス事

第四百十三條 外國ニ輸出ス可キ佛蘭西國ノ  
 製造品ノ性質美惡及ヒ其大小等ヲ定ムル為  
 メ設ケタル公ノ規則ヲ破リシ者ハ二百フラ  
 ンクヨリ少カラス三千フランクヨリ多カラ  
 サル罰金ノ言渡ヲ受ケ且其品物ヲ沒收セラ  
 ル可シ但シ此二箇ノ刑ハ其時ノ景況ニ因リ  
 帶連シテ言渡シ又ハ其一箇ノミヲ言渡ス可  
 シ



第四百十四條

千八百六十四年第五  
月二十五日如左換フ暴行、脅迫

及ヒ偽計等ヲ用ヒ強テ工丁ノ雇直ヲ昂低セ  
ントスル目的又ハ操作、工作等ヲ自由ニ行フ  
ノ妨ヲ為ス可キ目的等ヲ以テ工丁ヲシテ同  
時ニ皆其操作ヲ停止セシメ及ヒ停止セシメ  
ント為シ又ハ其停止シタル操作ヲ多少ノ時  
間其儘ニ經過セシメ及ヒ經過セシメント為  
タル者ハ六日ヨリ少カラス三年ヨリ多カラ  
サル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且十六フラン  
クヨリ少カラス三千フランクヨリ多カラサ

ル罰金ノ言渡ヲ受ケ又ハ其二箇ノ刑中ノ一  
箇ノミニ處セラル可シ

第四百十五條

千八百六十四年第五  
月二十五日如左換フ預定ノ企

ニ因テ前條ニ記シタル罪ヲ犯セシ時ハ裁判  
所ノ命ヲ以テ其犯人ニ於テ二年ヨリ少カラ  
ス五年ヨリ多カラサル時間政府ノ監察ヲ受  
ク可シ

第四百十六條

千八百六十四年第五  
月二十五日如左換フ工丁、財主

及ヒ諸般ノ工作ノ暗算ヲ為ス者等ニ於テ預  
定ノ企ヲ用ヒ言說シタル徵賂、抑制、強迫等ノ



方畧ニ因リ操作工作等ヲ自由ニ行フノ妨ヲ  
 為タル時ハ六日ヨリ少カラス三月ヨリ多カ  
 ラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且十六「フラ  
 ンク」ヨリ少カラス三百「フランク」ヨリ多カラ  
 サル罰金ノ言渡ヲ受ケ或ハ此ニ箇ノ刑中ノ  
 一箇ノミニ處セラレ可シ

千八百六十四年第五月二十五日ノ法第二  
 條○第四百十四條第四百十五條第四百十  
 六條等ハ土地ノ所有者及ヒ土地ヲ借受ル  
 者又ハ前收ヲ為ス者及ヒ田野ニ於ニ使用

スル奴僕工丁等ニ適當シテ用フ可シ○千  
 七百九十一年第九月廿八日及ヒ第十月六  
 日ノ法ノ第二篇第十九條第二十條等ハ廢  
 ス

第四百十七條 佛蘭西國ノ工作ヲ妨害セント  
 為スノ意ヲ以テ其工作場ノ指揮者家僮及ヒ  
 工丁等ヲ故ニ外國へ出行セシメシ者ハ六月  
 ヨリ少カラズ二年ヨリ多カラサル時間禁錮  
 ノ刑ニ處セラレ且五十「フランク」ヨリ少カラ  
 ス三百「フランク」ヨリ多カラサル罰金ノ言渡



ヲ受ク可シ

第四百十八條

千八百六十三年第五  
月十八日如左換フ製造所ノ

指揮者管家及ヒエ丁等ノ外國人又ハ外國ニ  
居住スル佛蘭西人等ニ其製造ノ奧秘ヲ漏洩  
シ又ハ漏洩セント為タル者ハ二年ヨリ少カ  
ラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處  
セラレ且五百フランクヨリ少カラス二万フ  
ランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可  
シ  
又其犯人ハ其刑ヲ受シ日ヨリシテ五年ヨリ

少カラス十年ヨリ多カラサル時間第四十二  
條ニ記シタル民權ヲ行フノ禁ヲ受ケ且同上  
ノ期限間政府ノ監察ヲ受ク可シ

若シ其奧秘ヲ佛蘭西國內ニ居住スル佛蘭西  
人ニ漏洩セシ時ハ其犯人ニ於テ三月ヨリ少  
カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ  
處セラレ且十六フランクヨリ少カラス二百  
フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク  
可シ

若シ政府ニ屬スル兵器彈藥等ヲ製造スル奧



秘ヲ漏洩シタル時ハ其犯人ニ於テ必ス此一條ノ第一項及ヒ第三項等ニ記シタル刑ノ至重ノ刑ニ處セララル可シ

第四百十九條 故意ヲ以テ衆人ニ詐偽及ヒ詭誣等ノ風評ヲ流布シ又ハ鬻賣者ノ期望スル估直ヨリ更ニ饒價ニ買收セント為シ又ハ同一ノ商品ヲ所有スル其首者ノ其商品ヲ鬻賣スルヲ停止シ或ハ善價ニ非レハ鬻賣ス可カラサルヲ合議シ又ハ其他何ノ方法ヲ論セス欺詭ノ計謀ヲ用フル等ノ事ヲ以テ商品

紙幣國債ノ證票等ノ價額ヲシテ貿易ノ自由ニ因リ自然ニ販賣發行等ヲ相競ヒ生スル所ノ價額ヨリ更ニ低昂セシメタル者ハ一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且五百フランクヨリ少カラス一万フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ケ其上裁判所ノ命ヲ以テ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間政府ノ監察ヲ受ク可シ

第四百二十條 若シ穀物及ヒ不良ノ穀物又ハ



穀粉及ヒ諸般ノ粉ト為ス可キ物又ハ麩色葡萄酒及ヒ其他ノ飲料等ニツキ前條ニ記シタル罪ヲ犯セシ者ハ二月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且千フランクヨリ少カラス二万フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可キ  
 且其犯人ハ五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル時間政府ノ監察ヲ受ク可キ  
 第四百二十一條 國債ノ證票ノ價額ノ低昂ニツキ賭博ヲ為タル者ハ第四百十九條ニ記載

シタル刑ニ處セラレ可シ

第四百二十二條 國債ノ證票ノ賣與及ヒ交付等ヲ為ス可キ契約ヲ結ヒシ時自己ニ於テ其證票ヲ所有スルノ證ナク其契約ヲ結ヒシ者ハ前條ニ記載シタル賭博ナリト為ス可シ

第四百二十三條 千八百六十三年第五金銀ノ

性質及ヒ真正ナリト為シ販賣シタル贋造ノ石類ノ性質又ハ諸般ノ商品ノ性質等ニツキ買主ヲ欺キシ者及ヒ贋造シタル度量ノ具ヲ用ヒテ販賣ヲ為ス品物ノ分量ヲ偽リシ者等



ハ三月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル時  
 間禁錮ノ刑ニ處セラレ且償還ノ金額ノ四分  
 一ヨリ多カラス五十フランクヨリ少カラサ  
 ル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ  
 此輕罪ニ管シタル品物及ヒ其價銀等ニ於テ  
 尚其賣主ニ屬スル時ハ之ヲ沒收シ且其質造  
 シタル度量ノ具モ亦沒收シテ之ヲ破毀ス可  
 シ  
 又裁判所ノ意ヲ以テ擇ミタル場所ニ裁判ノ  
 言渡書ヲ貼附シ且其裁判言渡ノ摘抄又ハ全

文等ヲ刺期刊行ノ書ニ印シテ其費用ヲ犯人  
 ヨリ償ハシム可シ

第四百二十四條 若シ賣主及ヒ買主等ノ商業  
 ヲ為スニツキ互ニ法律ニ於テ定メサル度量  
 ヲ用ヒシ時ハ賣主ニ於テ其犯禁ノ度量ヲ用  
 ヒ買主ヲ欺クト雖凡買主ニ於テ賣主ニ對シ  
 訴訟ヲ上告ス可カラス但シ此規則ト犯禁ノ  
 度量ノ具ヲ用ヒ及ヒ欺偽等ニツキ其犯人ヲ  
 刑ニ處ス可キ規則ト相抵觸スル事ナカル可  
 シ



欺偽ヲ為タル時ハ其犯人ニ於テ前條ニ記シタル刑ニ處セラル可シ

犯禁ノ度量ヲ用ヒシ罪ハ第四卷ニ記スル所ノ註誤ノ罪ヲ處ス可キ刑ヲ以テ罰ハ可シ

第四百二十五條 他人ノ藏版ニ管シタル規則ニ背キ活刷及ヒ鑿刺等ノ書類又ハ歌謠畫圖

等ノ類ヲ印出スルハ皆假冒ナリトス但シ諸般ノ假冒ハ皆輕罪ナリトス

第四百二十六條 假冒ノ書籍歌謠及ヒ畫圖等ノ類ヲ販賣セシ時又ハ外國ニ於テ假冒シタ

ル佛蘭西刊行ノ書籍歌謠畫圖等ノ類ヲ佛蘭西國內ニ携へ來タル時等ハ亦同一ノ輕罪ナリトス

第四百二十七條 假冒者及ヒ外國ニ於テ假冒シタル書籍歌謠畫圖等ノ類ヲ佛蘭西國內ニ携へ來リシ者等ハ百フランクヨリ少カラス二千フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ケ其假冒ノ書籍歌謠畫圖等ノ類ヲ販賣セシ者ハ二十五フランクヨリ少カラス五百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可



書籍、歌謡、畫圖等ヲ假冒シタル者又ハ之ヲ外國ヨリ携へ來リシ者及ヒ之ヲ販賣セシ者等ニ於テハ皆其所有ノ印本ヲ沒收セラル可シ  
 假冒ノ書籍、歌謡、畫圖等ヲ印シタル板木、鑄模及ヒ活字等モ亦沒收セラル可シ

第四百二十八條 觀戲場ノ支配者起做者及ヒ優伶等ノ著述者ノ藏板ニ管シタル規則ヲ犯シ觀戲場ニ於テ其傳奇ヲ演搬セシ者ハ五十フランクヨリ少カラス五百フランクヨリ多

カラサル罰金ノ言渡ヲ受ケ且其所得ノ金額ヲ沒收セラル可シ

第四百二十九條 前ノ四條ニ記載シタル場合ニ於テ其沒收シタル物品及ヒ沒收シタル所得ノ金額等ハ著述者ノ被リタル損失ヲ償フ可キ為メ之ヲ其著述者ニ追償セシム可シ但シ其追償ノ餘額ハ通常ノ方法ニ因テ定メ且未タ贖造ノ物品ヲ販賣セス及ヒ未タ所得ノ金額ヲ徵收セサル等ノ時ハ其追償ノ總額ヲ通常ノ方法ニ因テ定ム可シ



○第六節 海陸軍ニ諸般ノ品物ヲ供給スル者ノ罪

第四百三十條 海陸軍ノ為メ諸般ノ品物ノ供給、起做、租稅收納等ノ委任ヲ受ケタル會社中ノ者又ハ其各自ノ者等ニ於テ若シ敵兵ノ侵迫ニ因ラズシテ其任ヲ受ケタル職務ニ怠リシ者ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セラレ且償還ノ金額ノ四分一ヨリ多カラス五百フランクヨリ少カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ但シ此規則ト此委任ヲ受ケシ者ノ敵ト

交通ヲ為タル時更ニ重刑ニ處セラル可キ規則ト相抵觸スル事ナカル可シ

第四百三十一條 前條ニ記載シタル職務ノ委任ヲ受ケシ者ノ名代人ニ於テ其職務ニ怠リシ時ハ前條ニ記シタル刑ニ處セラル可シ若シ此職務ノ委任ヲ受ケシ者及ヒ其名代人等ノ相與ニ同上ノ罪ヲ犯シタル時ハ其ニ同上ノ刑ニ處セラル可シ

第四百三十二條 若シ政府ノ長官及ヒ下等ノ官吏等ニ於テ前二條ニ記載シタル犯人ノ其



犯罪ヲ助ケレ時ハ其長官及ヒ下等ノ官吏等ニ於テ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ但シ此規則ト敵ト交通シタル時更ニ重刑ニ處セラル可キ規則ト相抵觸スル事ナカル可シ

第四百三十三條 縱令全ク其職務ヲ怠リレニ非スト雖氏懈怠ニ因テ供給操作等ヲ遲延セシ時又ハ供給セシ物及ヒ操作シタル物等ノ性質分量等ニツキ詐偽アル時等ハ其犯人ニ於テ六月ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且償還ノ額ノ四分

一ヨリ多カラス百フランクヨリ少カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ  
此一節ノ各條ニ開載シタル數種ノ場合ニ於テ其罪ヲ訴訟スル事ハ唯政府ノ權ノミニアリトス

○第三款 物ヲ滅盡シ又ハ破壊シ又ハ損害スル事

第四百三十四條 千八百六十三年第五自己ノ月十三日如左換フ  
所有物及ヒ他人ノ所有物タルヲ問ハス故意ヲ以テ人ノ住居シ又ハ住居ス可キ建造物船



船舶小舟倉庫及ヒ木材ノ聚積場又ハ其他ノ人  
 ノ居住シ又ハ居住ス可キ諸般ノ場所等ニ火  
 ヲ放チシ者ハ死刑ニ處セラレ可シ  
 人ノ乘リタル車又ハ火輪車及ヒ現ニ人ノ乘  
 シ車ニ非スト雖凡人ノ乘リタル火輪車中ノ  
 列車ノ一部ニ故意ヲ以テ火ヲ放チシ者ハ同  
 上ノ刑ニ處セラレ可シ  
 人ノ居住シ及ヒ居住ノ為メ等ニ非サル建造  
 物船舶小舟倉庫及ヒ木材ノ聚積場又ハ森林  
 及ヒ斫伐ス可キ大木又ハ未タ刈收セサル穀

物等ノ已ニ屬セサル物ニ故意ヲ以テ火ヲ放  
 チシ者ハ無期ノ徒刑ニ處セラレ可シ  
 前文ニ記シタル所ノ已ニ屬セシ物ニ火ヲ放  
 チ及ヒ放タシメ故意ヲ以テ人ニ損害ヲ加ヘ  
 シメシ者ハ有期ノ徒刑ニ處セラレ可シ又其  
 所有者ノ命ニ因リ火ヲ放チシ者ハ同刑ニ處  
 セラル可シ  
 堆積セシ藁又ハ刈收セシ穀物又ハ堆積セシ  
 木材又ハ商品及ヒ其他品物ヲ載積スルト載  
 積セサルトヲ論セス人ノ乘リタル車及ヒ火



輪車等ノ列車ノ一部ニ非サル車ノ已ニ屬セ  
 サル物ヘ故意ヲ以テ火ヲ放チシ者ハ有期ノ  
 徒刑ニ處セララル可シ  
 前文ニ記シタル所ノ已ニ屬セシ物ニ火ヲ放  
 チ及ヒ放タシメ故意ヲ以テ人ニ損害ヲ加ヘ  
 タル者ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セ  
 ラル可シ又其所有者ノ命ニ因リ火ヲ放チシ  
 者ハ同刑ニ處セララル可シ  
 已ニ屬スルト人ニ屬スルトヲ問ハス火ヲ傳  
 フ可キ場所ニアル物件ニ故意ヲ以テ火ヲ放

チ前六項ニ記セシ物ニ火ヲ傳ヘシメシ者ハ  
 直ニ其物ニ火ヲ放チシ者ト同刑ニ處セララル  
 可シ  
 何ノ場合ニ於テモ火ヲ放チシ時其場ニアル  
 者ノ一人又ハ數人ノ焚死セシ時ハ其犯人ニ  
 於テ死刑ニ處セララル可シ  
 第四百三十五條 地雷火ヲ破裂セシメ建造物  
 船舶小舟及ヒ木材ノ聚積場等ヲ滅盡シタル  
 者ハ前條ニ記シタル區別ヲ以テ刑ニ處セラ  
 ル可シ



第四百三十六條 家屋又ハ其他ノ所有物等ニ  
 火ヲ放タント脅迫シタル者ハ第三百五條第  
 三百六條第三百七條等ニ記シタル區別ニ循  
 ヒ陰殺ヲ為サント脅迫セシ者ト同刑ニ處セ  
 ラル可シ

第四百三十七條 千八百六十三年第五何ノ方  
 月十三日如左換フ  
 法ヲ論セス人ニ屬スル丁ヲ知リシ建造物及  
 ヒ橋堤等ノ類ノ全部又ハ一部ヲ故意ヲ以テ  
 滅盡シ及ヒ崩潰セシメシ者又ハ蒸氣器械ヲ  
 破裂セシメシ者等ハ徒刑場内ニ於テ驅役ス

ル刑ニ處セラレ且償還ノ金額ノ四分一ヨリ  
 多カラス百フランクヨリ少カラサル罰金ノ  
 言渡ヲ受ク可シ  
 若シ此罪犯ニ因リ人ヲ殺シ及ヒ傷スル等ノ  
 事アル時ハ其犯人ヲ人ヲ殺スニ於テハ死刑  
 ニ處シ人ヲ傷スルニ於テハ有期ノ徒刑ニ處  
 ス可シ

第四百三十八條 強劫ヲ以テ政府ノ允許シタ  
 ル造營操作等ノ成功ヲ妨ント為ス者ハ三月  
 ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮



ノ刑ニ處セラレ且損害ノ償還ノ金額ノ四分  
一ヨリ多カラス十六フランクヨリ少カラサ  
ル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ  
其罪犯ノ首謀ハ同上ノ至重ノ刑ニ處セラル  
可シ

第四百三十九條 官署ノ簿冊、證書及ヒ記單等  
ノ書類又ハ借受、販賣、受寄、送還等ノ事ニ管シ  
タル貿易及ヒ交引カハセ舗ノ紙券、交引、證書、證票等  
ノ類ヲ故意ヲ以テ焚燬シ又ハ何ノ方法ヲ論  
セス滅盡シタル者ハ左ノ刑ニ處セラル可シ

若シ官署ノ書類又ハ貿易及ヒ交引舗ノ證書  
類等ヲ滅盡シタル者ハ徒刑場内ニ於テ驅役  
スル刑ニ處セラル可シ  
若シ其他ノ證書類ヲ滅盡セシ者ハ二年ヨリ  
少カラヌ五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑  
ニ處セラレ且百フランクヨリ少カラヌ三百  
フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク  
可シ

第四百四十條 群衆ヲナシ且暴威ヲ以テ品物  
及ヒ商品又ハ金銀ノ證票及ヒ其他動産ノ類



等ヲ毀損セシ者ハ有期ノ徒刑ニ處セラル可  
シ且其各犯人ハ二百フランクヨリ少カラス  
五千フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ  
受ク可シ

第四百四十一條 人ノ唆挑ヲ受ケ又ハ懇諭ニ  
因テ前條ニ記セシ所ノ暴行ニ交加シタル證  
アル者ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ノミニ  
處セララル可シ

第四百四十二條 此暴行ニ因テ穀物及ヒ不良  
ノ穀物又ハ穀粉及ヒ諸般ノ粉ト為ス可キ品

物又ハ麵包、葡萄酒及ヒ其他ノ飲料等ヲ損敗  
セシ時ハ其暴行ノ首謀及ヒ唆挑シタル者等  
ニ於テ有期ノ至重ノ徒刑ニ處セラレ且第四  
百四十條ニ記シタル至重ノ罰金ノ言渡ヲ受  
ク可シ

第四百四十三條

千八百六十三年第五  
月十三日如左換フ 腐爛ヲ

生セシムル流動物ヲ用ヒ及ヒ其他ノ方法ニ  
因リ故意ヲ以テ商品又ハ製造ヲ為ス可キ品  
物及ヒ器具等ノ類ヲ損敗シタル者ハ一月ヨ  
リ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ



刑ニ處セラレ且償還ノ金額ノ四分一ヨリ多  
 カラス十六フランクヨリ少カラサル罰金ノ  
 言渡ヲ受ク可シ  
 若シ製造所ノ工丁及ヒ商家ノ家僮等ニ於テ  
 此輕罪ヲ犯シタル時ハ二年ヨリ少カラス五  
 年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル  
 可シ但シ此規則ト其犯人ニ於テ前項ニ記シ  
 タル罰金ノ言渡ヲ受ク可キ規則ト相抵觸ス  
 ル事ナカル可シ

第四百四十四條 未夕刈收セサル穀類及ヒ天

生人造等ノ草木類等ヲ傷殘セシ者ハ二年ヨ  
 リ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ  
 刑ニ處セララル可シ

且其犯人ハ裁判所ノ命ヲ以テ五年ヨリ少カ  
 ラス十年ヨリ多カラサル時間政府ノ監察ヲ  
 受ク可シ

第四百四十五條 樹木ノ他人ニ屬セシ事ヲ知  
 リ其一根又ハ數根ヲ斫伐セシ者ハ其斫伐シ  
 タル樹木ノ每根ニツキ六日ヨリ少カラス六  
 月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セララル



可レ但シ其斫伐シタル樹木ノ數ニ於テ幾許  
アリト雖凡其犯人ヲ五年ヨリ以上ノ刑ニ處  
スル事ナカル可シ

第四百四十六條 樹木ヲ枯死セシムル方法ヲ  
以テ之ヲ傷ケ及ヒ斫リ或ハ其皮ヲ剥去ヤシ  
者ハ其樹木ノ每根ニツキ前條ニ等シキ刑ニ  
處セララル可シ

第四百四十七條 接木ノ一根又ハ數根ヲ損害  
シタル者ハ其接木ノ每根ニツキ六日ヨリ少  
カラス二月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ

處セララル可シ但シ其損害セシ數ニ於テ幾許  
アリト雖凡其犯人ヲ二年ヨリ以上ノ刑ニ處  
ス可カラス

第四百四十八條 若シ街衢、大道、道路、市街、小路、  
傍徑等ニ植タル樹木ヲ斫伐シ又ハ損害シタ  
ル者ノ第、四百四十五條及ヒ第四百四十六條  
等ニ記載セシ場合ニ於テハ其至輕ノ刑ニ於  
テ二十日ノ時間禁錮スルヨリ以下ナルヲナ  
ク第四百四十七條ニ記載シタル場合ニ於テ  
ハ其至輕ノ刑ニ於テ十日ノ時間禁錮スルヨ



リ以下ナルヲナカル可シ

第四百四十九條 穀類及ヒ牛馬ニ喂ス可キ草類等、他人ニ屬スルヲ知リ之ヲ刈伐セシ者ハ六日ヨリ少カラス二月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第四百五十條 若シ前條ニ記シタル犯人ニ於テ未熟ノ穀類ヲ刈伐セシ時ハ二十日ヨリ少カラス四月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

此一條及ヒ前ノ六條等ニ關載シタル場合ニ

於テ官吏ノ行フ所ノ職務ニツキ其官吏ヲ疾惡シ其罪犯ヲ行フタル者ハ其各條ニ記載シタル至重ノ刑ニ處セラル可シ

縱令官吏ヲ疾惡スルノ事ナシト雖、夜間ニ此罪犯ヲ行フタル者ハ其各條ニ關載セシ至重ノ刑ニ處セラル可シ

第四百五十一條 耕具、獸圈及ヒ看守人ノ小舎等ヲ破壊セシ者ハ一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ  
第四百五十二條 馬又ハ其他車ヲ挽シメ及ヒ



騎行ノ用ニ供レ或ハ物ヲ搬運スルノ用ニ供  
 ス可キ獸類又ハ牛羊草羊豚及ヒ池沼ニ養フ  
 タル魚等ニ毒物ヲ與ヘシ者ハ一年ヨリ少カ  
 ラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處  
 セラレ且十六「フランク」ヨリ少カラス三百「フ  
 ランク」ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可  
 シ但シ其犯人ハ裁判所ノ命ヲ以テ二年ヨリ  
 少カラス五年ヨリ多カラサル時間政府ノ監  
 察ヲ受ク可シ

第四百五十三條 已テ得サルニ非スシテ前條

ニ記シタル獸類ノ一ヲ殺セシ者ハ左ノ刑ニ  
 處セララル可シ

若シ其獸類ヲ蓄ヒ置シ者ノ所有シ及ヒ借受  
 シ家屋又ハ其圍繞ヲ為タル場所及ヒ其附屬  
 ノ場所又ハ土地等ニ於テ此輕罪ヲ犯シタル  
 者ハ二月ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル  
 時間禁錮ノ刑ニ處セララル可シ

若シ犯人ノ所有シ及ヒ借受シ場所ニ於テ此  
 輕罪ヲ犯シタル時ハ六日ヨリ少カラス一月  
 ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セララル可



シ  
若シ前ノ二項ニ記シタル以外ノ場所ニ於テ  
此輕罪ヲ犯セシ者ハ十五日ヨリ少カラス六  
週ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル  
可シ

何ノ場合ニ於テモ塀牆ヲ破壊シテ此輕罪ヲ  
犯セシ者ハ其至重ノ刑ニ處セラル可シ

第四百五十四條 已テ得サルニ非スシテ獸類  
ノ所有者ノ所有シ及ヒ借受シ場所ニ於テ家  
屋内ニ蓄フ獸類ヲ殺セシ者ハ六日ヨリ少カ

ラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處  
セラル可シ

若シ塀牆ヲ破壊シテ此輕罪ヲ犯セシ者ハ其  
至重ノ刑ニ處セラル可シ

第四百五十五條 第四百四十四條ヨリ前條ニ  
至ル迄ノ各條ニ開載シタル場合ニ於テハ其  
犯人ニ於テ償還ノ金額ノ四分一ヨリ多カラ  
ス十六フランクヨリ少カラサル罰金ノ言渡  
ヲ受ク可シ

第四百五十六條 溝渠ヲ填メ又ハ塀牆ノ何物



ヲ以テ造リタルヲ論セス之ヲ破壊シ又ハ植  
 籬及ヒ編牆等ヲ斫リ毀テ及ヒ抜キ採リシ者  
 又ハ田地森林等ノ經界ヲ定ムル為メ施シタ  
 ル石及ヒ其經界ヲ定ムル為メ植タル樹木又  
 ハ其經界ノ限定ヲ為スラ衆庶ノ通知シタル  
 樹木等ヲ移動シ又ハ毀棄セシ者等ハ一月ヨ  
 リ少カラス一年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ  
 刑ニ處セラレ且償還ノ金額ノ四分一二當ル  
 可キ罰金ノ言渡ヲ受ク可シ但シ其罰金ハ何  
 レノ場合ニ於テモ五十フランクヨリ少ナキ

事ナカル可シ

第四百五十七條

土地ノ所有者及ヒ借主又ハ

水車製造所及ヒ池沼等ヲ所有スル者等ニ於

テ當然ノ對定者ノ限定シタル高サ以上ニ疏

水ノ路ヲ造リテ道路及ヒ他人ノ所有スル地

等ニ其水ヲ流溢セシメシ時ハ償還ノ金額ノ

四分一ヨリ多カラス五十フランクヨリ少カ

ラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

若シ其水ノ流溢セシニ因リ損害ヲ生シタル

時ハ其犯人ニ於テ罰金ノ外六日ヨリ少カラ



ス一月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第四百五十八條 他人ノ動産、静産等ニ接近セシ竈、カッヘル奥竈、煙突、鑄造所、家屋、製造所等ノ舊敗シ及ヒ其修理掃除等ニ怠リ又ハ田野ニ於テ家屋及ヒ建造物又ハ森林、草叢、園庭、裁植籬、又ハ穀類、藁類、枯草、牛羊ニ喂ス可キ草類等ヲ堆積シタル物及ヒ其他焚燒ス可キ品物ヲ堆積シタル所等ヨリ百メートル以下ノ距離ニ於テ火ヲ燃ヤシ又ハ諸般ノ<sub>モヤスヒ</sub>燃火、<sub>アフリキ</sub>點火等ヲ忽畧

ニナシ又ハ疎畧ニ煙火ヲ弄シタル等ノ事ニ因リ他人ノ動産及ヒ静産等ニ火患ヲ生シタル者ハ五十フランクヨリ少カラス五百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第四百五十九條 傳染病ニ罹ルノ疑アル禽獸等ヲ看守フル者ノ其<sub>コ</sub>ト<sub>ム</sub>ニ<sub>シ</sub>ノ<sub>メ</sub>イルニ速ニ其事ヲ告知セサル者及ヒ<sub>メ</sub>イルニ其事ヲ告知スト雖<sub>モ</sub>其回報ヲ得ルノ前其禽獸ヲ鎖閉シ置サル者等ハ六日ヨリ少カラス二月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且



十六「フランク」ヨリ少カラスニ百「フランク」ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第四百六十條 官署ノ禁制ニ背キ傳染病ニ罹リタル禽獸等ヲシテ他ノ禽獸等ト雜處セシメシ者ハ二月ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且百「フランク」ヨリ少カラス五百「フランク」ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第四百六十一條 若シ前條ニ記載シタル禽獸等ヲ雜處セシメシニ因リ他ノ禽獸等ヲシテ

傳染病ニ罹ラシメシ時ハ官署ノ禁制ニ背キ其罪ヲ犯シタル者ニ於テ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且百「フランク」ヨリ少カラス千「フランク」ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ但シ此規則ト禽獸ノ傳染病ニ管シタル規則ヲ行フ事及ヒ其規則ニ背キタル罪ヲ罰ス可キ事等ト相抵觸スル事ナカル可シ

第四百六十二條 若シ田野及ヒ森林ノ看守人又ハ取締ノ官吏等ニ於テ其位階身位等ヲ問



ハス此一章ニ開具シタル輕罪ヲ犯セシ時ハ其犯人ニ於テ一月ヨリ少カラス又其輕罪ノ他ノ犯人ヲ處ス可キ至重ノ刑ノ更ニ其三分一ヲ増加シタル時間ヨリ多カラサル期限間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

總規則

第四百六十三條

千八百六十三年第五  
月十三日如左換フ  
犯罪ノ

證アル被告人ヲ法律ニ循ヒ處ス可キ刑ニ於テ減殺ス可キノ情狀アル事ヲ陪審ヨリ上告シタル時ハ左ノ如ク其刑ヲ減ス可シ

若シ法律ニ循テ死刑ヲ言渡ス可キ時ハ裁判所ニ於テ無期ノ徒刑又ハ有期ノ徒刑等ヲ言渡ス可シ

無期ノ徒刑ニ處セラル可キ時ハ裁判所ニ於テ有期ノ徒刑又ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑等ヲ言渡ス可シ

若シ城寨中ニ謫スル流刑ニ處ス可キ時ハ裁判所ニ於テ通常ノ流刑又ハ囚獄ノ刑等ヲ言渡ス可シ但シ第九十六條及ヒ第九十七條等ニ記載シタル場合ニ於テハ通常ノ流刑ノミ



ヲ言渡ス可シ

若シ流刑ニ處ス可キ時ハ裁判所ニ於テ囚獄ノ刑又ハ追放ノ刑等ヲ言渡ス可シ

若シ有期ノ徒刑ニ處ス可キ時ハ裁判所ニ於テ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑又ハ第四百一條ニ記載シタル規則等ヲ言渡ス可シ但シ其禁錮ノ時間ヲ二年ヨリ以下ニ減スル事ナカル可シ

若シ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑、囚獄ノ刑、追放ノ刑、民權剥奪ノ刑等ニ處ス可キ時ハ裁判

所ニ於テ第四百一條ニ記載シタル規則ヲ言渡ス可シ但シ其禁錮ノ時間ヲ一年ヨリ以下ニ減スル事ナカル可シ

法律ニ循テ施體ノ至重ノ刑ニ處ス可キ時其罪ヲ減殺ス可キ情状アルニ於テハ裁判所ニ於テ施體ノ至輕ノ刑ヲ言渡シ又ハ施體以下ノ刑ヲ言渡ス可シ

何ノ場合ニ於テモ法律ニ於テ禁錮ノ刑又ハ罰金等ヲ言渡ス可キ時其罪ノ減殺ス可キ情状アル時ハ再犯ノ場合ト雖モ輕罪ノ裁判所



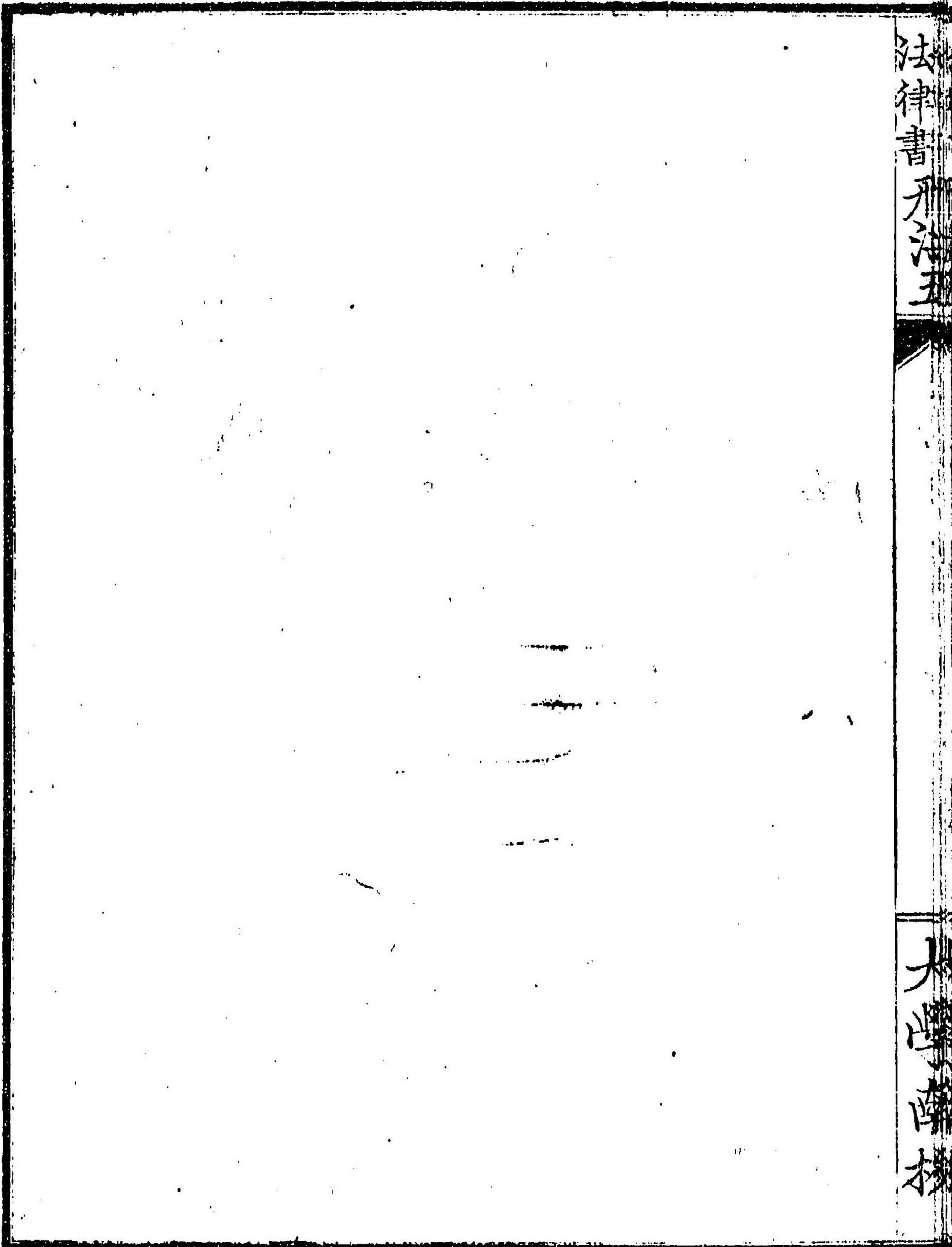
ニ於テ其禁錮ノ刑及ヒ罰金等ヲ左ノ刑ニ降減シテ言渡ス可シ

若シ罪ノ種類及ヒ再犯ノ罪等ニ因テ法律ニ循ヒ一年ヨリ少カラサル時間禁錮スルノ刑又ハ五百フランクヨリ少カラザル罰金等ヲ言渡ス可キ時ハ裁判所ニ於テ其禁錮ノ時間ヲ六日迄ニ減シ且其罰金ヲ十六フランク迄ニ減スルヲ得可シ

其他ノ場合ニ於テハ裁判所ニ於テ其禁錮ノ時間ヲ六日以下ニ減シ其罰金ヲ十六フラン

ク以下ニ減スル事ヲ做シ得及ヒ其禁錮ノ刑ト罰金トノ中其一箇ノミヲ言渡シ又ハ禁錮ノ刑ニ換テ罰金ヲ言渡スヲ得可シ但シ何ノ場合ニ於テモ其罰金ハ註誤ノ罪ニツキ言渡ス可キ罰金ヨリ少ナキ事ナカル可シ





○第四篇 誑誤ノ罪及ヒ其刑 二千八百十年第  
定第三月二  
日布告ス

○第一章 誑誤ノ刑

第四百六十四條 誑誤ノ刑公

禁錮

罰金

品物ノ沒收

此等ナリ

第四百六十五條 誑誤ノ罪ノ為メ言渡ス所ノ

禁錮ノ時間ハ後文ニ記載シタル種類及ヒ區



別等ニ循ヒ一日ヨリ少キ一ナク五日ヨリ多キ事ナカル可シ

一日禁錮スルノ期限ハ一晝夜即チ二十四時間トス

第四百六十六條 註誤ノ罪ニツキ言渡ス可キ罰金ハ後文ニ記載シタル種類及ヒ區別等ニ循ヒ一「フラン」クヨリ少カラス十五「フラン」クヨリ多カラサル可シ且其罰金ハ註誤ノ罪ヲ犯シタル「コム」ンノ所得ト為ス可シ

第四百六十七條 犯人ヲシテ罰金ヲ償ハシム

ル為メ之ヲ獄ニ繫ク可シ

然氏犯人ニ於テ其罰金ヲ償フ不能サルノ確證アル時ハ十五日以上ノ時間獄ニ繫ク可カラス

第四百六十八條 罰金ト原告人ニ追還ス可キ償額ト相抵觸シテ犯人ノ所有物ノ若シ其數ニ充サル時ハ原告人ニ追還ノ額ヲ罰金ヨリ前ニ償ハシム可シ

第四百六十九條 犯人ヲシテ原告人ヘノ償還及ヒ裁判ノ費用等ヲ償ハシムル為メ之ヲ獄



ニ繫キ且ツ其犯人ニ於テ盡ク其償額ヲ了スルニ至ル迄之ヲ繫囚シ置ク可シ然レ若シ政府ニ其償ヲ為サシムル為メ獄ニ繫キシ時第四百六十七條ニ記載シタル如ク其償ヲ為ス可ハサルノ確證アルニ於テハ其犯人ノ刑ヲ其條ニ記載セシ如ク減殺ス可シ

第四百七十條 又註誤ノ罪ヲ審判スル裁判所ニ於テ法律ニテ定メタル場合ニ於テハ犯人ノ註誤ノ罪ヲ犯セシニ因リ裁判所ニ徵收セシ品物又ハ註誤ノ罪ニ因リ犯人ノ所得ト為

シタル品物及ヒ其罪ヲ犯スニ用ヒ或ハ用ヒント為タル品物器具等ヲ沒收スルトヲ言渡ス可シ

○第二章 註誤ノ罪及ヒ其刑

○第一款

○第一種

第四百七十一條

第一 火ヲ焚ク可キ竈、燠竈、製造所等ヲ修理シ及ヒ掃除スル等ノ事ニ怠リシ者



第二 或ル地ニ於テ烟火ハナヒヲ弄スルノ禁ヲ犯セシ者

第三 燈火ヲ點ス可キ定則アル時其事ヲ怠リタル旅店ノ主人及ヒ其他ノ者又「コムニユーン」ノ規則ニ於テ其地ノ住民ノ街路小徑等ヲ掃除ス可キ定規アル時其事ニ怠リタル者

第四 已ヲ得サルニ非スレテ通行ノ自在及ヒ安寧等ヲ妨ク可キ品物ヲ街路ニ置キ妨ヲ為ス者又自カラ街衢ニ置

キシ品物及ヒ自ラ街衢ニ穿チシ穴等ニ火ヲ點ス可キ法律ニ背キシ者

第五 道路小徑等ノ往來ニ管係スル規則ヲ守ル事ニ怠リ或ハ肯セサル者又崩壞セントスル家屋ヲ官署ノ命ニ因リ修復シ又ハ取除ク可キ時其事ヲ為サル者

第六 墜落シテ人ノ害トナル可キ物及ヒ惡氣ヲ發シテ人ノ害トナル可キ物等ヲ家屋ノ前ニ展排シ及ヒ抛擲セシ



者

第七 道路、小徑、街衢及ヒ田野等ニ鋤、鋤、木槌、鉄竿又ハ其他盜賊及ヒ兇行ヲ為ス者等ノ用トナル可キ兵器、器具等ノ類ヲ遺留セシ者

第八 法律ニ於テ田野又ハ園庭等ノ蝨ケヲ掃フ可キ時其事ニ怠リシ者

第九 別段ニ法律ニ於テ罰ス可キ他ノ罪犯ノ情状ナキ時他人ニ屬スル菓實ヲ盜ミ及ヒ其場所ニ於テ食ヒシ者

第十 別段ニ法律ニ於テ罰ス可キ他ノ罪犯ノ情状ナキ時尙未夕穀類ヲ全ク刈取セサル田野ニ於テ日出前及ヒ日没後等ニ鋤竿ヲ用ヒ爬集シ又ハ葡萄園内ニ於テ摘殘シタル小サキ葡萄ヲ摘取セシ者

第十一 人ヨリ害ヲ受クルニ非スシテ人ニ對シ三百六十七條ヨリ三百七十八條ニ至ル迄ノ各條ニ開載シタル以外ノ虫、鹿ヒイキヲ為タル者



第十二 疎失ニ因リ人ニ對シ汚穢物ヲ  
抛澆セシ者

第十三 土地ノ所有者及ヒ借主又ハ償  
ヲ出シテ借受ケ耕作ヲ為ス者等ニ非  
サル人又ハ其土地ヲ通行スルノ權ナ  
キ人又ハ其所有者借主等ノ代人及ヒ  
使役ヲ受ル者等ニ非サル人等ノ土地  
ニ穀物ヲ植子可キ預備ヲ為セシ時又  
ハ種子ヲ蒔シ時等ニ當リ其地又ハ其  
一部等ニ入り通行シタル者

第十四 他人ニ屬スル地ニ於テ未タ穀  
物ヲ刈收セサル以前ニ車ヲ挽カシメ  
及ヒ物ヲ負載セシメ又ハ騎行ニ用フ  
ル等ノ獸類ヲ通行セシメタル者

第十五 官署ノ規則ニ背キ且千七百九  
十年第八月十六日ヨリ二十四日ニ至  
ル迄ノ間ニ立タル法律第十一章ノ第  
三條第四條及ヒ千七百九十一年第七  
月十九日ヨリ二十二日ニ至ル迄ノ間  
ニ立タル法律第一章ノ第四十六條等



ニ依ル土地ノ官署ヨリ布告シタル規  
則ヲ守ラサル者

此等ノ者ハ一「フラン」ヨリ少カラス五「フラ  
ン」ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ  
第四百七十二條 第四百七十一條ノ第二ニ記  
シタル場合ニ於テ徵收シタル烟火及ヒ同條  
ノ第七ニ記シタル鋤、鍬及ヒ其他ノ器具、兵器  
等ハ沒收セララル可シ

第四百七十三條 且前條ニ記載シタル如ク烟  
火ヲ弄シタル者及ヒ第四百七十一條ノ第十

ニ記シタル如ク拘竿ニテ爬集シタル者又ハ  
葡萄園内ニ於テ摘殘レタル小キ葡萄ヲ摘取  
セシ者等ハ其時ノ景況ニ因リ三日ヨリ多カ  
サル時間禁錮ノ刑ニ處セララル可シ

第四百七十四條 第四百七十一條ニ記載シタ  
ル犯人等ニ於テ再犯シタル時ハ三日ヨリ多  
カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セララル可シ

第二款

第二種

第四百七十五條



第一 葡萄ノ收納ヲ布告スル規則及ヒ  
其他布告ノ規則等ニ背キシ者

第二 旅店ノ主人及ヒ家具ノ備リシ家  
屋ノ貸主等ニ於テ其家ニ宿シタル者  
ノ姓名身位住所出入ノ日附等ヲ其簿  
冊へ刺白ナク連續シテ記載スル事ニ  
怠リシ者及ヒ其簿冊ヲ規則ニ於テ定  
メタル時限又ハ求需ヲ受シ時等ニ於  
テマイル及ヒ其輔佐又ハ取締ノ官吏  
又ハ特ニ其事ノ任ヲ受シ者等ニ示サ

ル者但シ第七十三條ニ記載シタル如  
ク其家屋ニ宿シタル者ノ姓名等ヲ規  
則ニ循記載セサル時其宿セシ者ノ重  
罪及ヒ輕罪等ヲ犯シタルニツキ其主  
人ニ於テ其追償ヲ擔當ス可キ規則ト  
相抵觸スル事ナカル可シ

第三 挽夫及ヒ御者等ニ於テ馬又ハ車  
ヲ挽カシメ及ヒ物ヲ負載セシムル獸  
類及ヒ車等ニ添フト常ニ之ヲ引導ス  
ルヲ得可キ場所ニアル可キ規則ニ背



キニ者又ハ市街道路街衢等ノ一側ノ  
 之ニ迴避ス可キ規則ニ背キニ者及ヒ  
 他ノ車等ニ對シテ躲避シ市街堤塢道  
 路小徑等ノ半ハヲ讓ル可キ規則ニ背  
 キニ者

第四 馬又ハ車ヲ挽カシメ及ヒ物ヲ負  
 載セシメ又ハ騎行ノ用ニ供スル獸類  
 ヲ人ノ居住スル家屋ノ内部へ驅セ入  
 ラシメ又驅セ入ラ見テ防カサル者又  
 ハ車ニ物ヲ積載スル規則及ヒ車ノ進

行ノ遲速方向等ノ規則等ニ背キニ者  
 街衢ノ馬車ノ堅牢

其馬車ノ重サ

其馬車ニ物ヲ積載スル方法

其馬車ノ乗客ノ數及ヒ其安寧

其馬車内ニ乗載ス可キ容員及ヒ一員

ニツキ賃直ノ幾許ナルヲ記スル事

其馬車ノ外部ニ其所有者ノ姓名ヲ記

スル事

此等ノ事ニ管シタル規則ニ背ク者



第五 市街、道路、街衢等ニ於テ賑給及ヒ賭博等ヲ為ス者

第六 千八百五十五年第五月五日廢ス價造シタル飲料

ヲ販賣スル者但シ人ノ健康ヲ害ス可

キ混合物ヲ交ヘシ時ハ註誤ノ罪ヲ審

判スル裁判所ニ於テ更ニ重キ刑ヲ言

渡ス可キ規則ト相抵觸スルナカル

可シ

第七 狂者又ハ猛獸等ヲ管守スル者ニ

於テ其狂者又ハ猛獸ヲ徘徊セシメシ

者又人ニ對シテ害ヲ生スル事ナシト

雖凡行人ニ犬ヲ啖イタシタル者又ハ其犬

ノ行人ヲ襲ヒ及ヒ躡スル時其犬ヲ捉

住セサル者

第八 石又ハ其他ノ堅牢物及ヒ汚穢物

等ヲ人ノ家屋、建造物、統圍ヲ為シタル

地等ニ抛テシ者又故意ヲ以テ堅牢物

及ヒ汚穢物等ヲ人ニ抛テシ者

第九 既熟未熟等ヲ論セズ穀類、葡萄及

ヒ他ノ菓實等ノ生タル時ニ當リ其土



地ノ所有者及ヒ借主等ニ非サル者又ハ其土地ヲ通行スルノ權ナキ者等ノ其地ニ潜入シテ通行シタル者

第十 何レノ時ヲ論セス種ヲ時キタル他人ノ地又ハ穀類ノ生シタル他人ノ地及ヒ他人ニ屬スル斫伐ス可キ樹木ノ森林等へ車ヲ挽キ又ハ物ヲ載セ及ヒ騎行ニ用フル獸類ヲシテ通行セシメ又ハ通行スルヲ見テ止メサル者

第十一 贋造及ヒ變造等ニ非サル自國

ノ貨幣ヲ時價ニ從ヒ交收スルヲ肯セサル者

第十二 驟起ノ不幸、騷擾、難航、洪水、火災及ヒ其他ノ災厄又ハ盜賊、掠奪及ヒ現行ノ兇行及ヒ喧噪又ハ裁判ニ從ヒ犯人ヲ刑ニ處セント為ス等ノ時ニ於テ人ヨリ求メヲ受ケ止ムヲ得サルニ非シテカヲ用ヒ又ハ助ヲ為ス等ノ事ヲ肯セス及ヒ急リシ者

第十三 此刑法ノ第二百八十四條及ヒ



第二百八十八條等ニ記載シタル者

第十四 腐敗セシ食物及ヒ人ノ健康ヲ

害スル食物等ヲ販賣スル者千八百五

三月二十  
七日廢ス

第十五 未夕地ヨリ刈收セサル穀類及

ヒ其他ノ地ヨリ生シタル有益ノ產物

等ヲ第三百八十八條ニ記載シタル景

狀ニ非スレテ盜ミシ者

此等ノ者ハ六「フ」ランクヨリ少カラス十「フ」ラ

ンクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第四百七十六條 前條ニ記載シタル如ク法ニ

背キタル挽夫及ヒ御者又ハ車及ヒ獸類ノ進

行ノ遲速、方向、物ヲ積載スルノ法又ハ街衢ノ

馬車ノ堅牢及ヒ其重サ、其物ヲ積載スルノ方

法、其乗客ノ數、其安寧等ノ諸事ニ管スル規則

ヲ犯セシ者又ハ贋造シタル飲料ヲ販賣スル

者又ハ堅牢ノ物及ヒ汚穢ノ物等ヲ扱チタル

者等ハ其時ノ景狀ニ因リ前條ニ記載シタル

罰金ノ外三日ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑

ニ處セラレ可シ



第四百七十七條

第一 第四百七十六條ニ記載シタル場

合ニ於テ市街道、街衢等ニテ行フタ

ル賭博及ヒ賑給等ニ用ヒシ卓子及ヒ

器具等ノ類又ハ賭物ト為タル金銀及

ヒ品物等ハ沒收セラル可シ

第二 販賣者ニ屬スル贗造ノ飲料ハ流

シ棄ツ可シ

第三 風俗ヲ亂ス書畫ノ類ハ細ニ扯破

ス可シ

第四 腐敗又ハ健康ヲ害スル食物等ハ

之ヲ棄ツ可シ

第四百七十八條 第四百七十五條ニ記載シタ

ル各人ニ於テ再犯シタル時ハ五日ヨリ多カ

ラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第四百七十五條ノ第五ニ記シタル者ニ於テ

同罪ヲ再犯シテ逮捕ヲ受ケタル時ハ其犯人

ノ註誤ヲ審判スル裁判所ニ呼出シ六日ヨリ

少カラス一月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑

ニ處セラレ且十六「フラン」ヨリ少カラスニ



百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

○第三款

○第三種

第四百七十九條

第一 第四百三十四條ヨリ第四百六十二條ニ至ル迄ノ各條ニ開載シタル場合ノ外故意ヲ以テ他人ノ動産ニ損害ヲ生シタル者

第二 狂者及ヒ猛獸等ヲ徘徊セシメ又

ハ車及ヒ馬又ハ車ヲ挽キ物ヲ載セ騎行ノ用ニ供スル獸類等ノ進歩ノ速ナルニ過キ又ハ其獸類ヲシテ惡キ方向ニ至ラシメ又ハ其獸類ニ過多ノ物ヲ積載スル等ノ事ヲ為シテ他人ニ屬スル禽獸ヲ殺シ又ハ傷ツケタル者  
第三 忽ニ兵器ヲ弄シ及ヒ拙ニ兵器ヲ弄シ又ハ石及ヒ他ノ堅牢物ヲ抛テテ他人ニ屬スル禽獸ヲ殺シ又ハ傷ツケタル者



第四 家屋ノ舊敗シ及ヒ破壊シ又ハ修理ニ急リ又ハ政府ノ命令及ヒ土地ノ習慣等ニ於テ定リタル預備信號標識等ナク市街道路街衢等ノ中央及ヒ傍側等ニ障碍物ヲ置キ及ヒ穴ヲ穿チ又ハ其他ノ事ヲ為シ他人ニ屬スル禽獸ヲ殺シ又ハ傷ツケタル者

第五 倉庫商店操作場商館市場等ニ於テ質造ノ度量ノ具ヲ所有スル者但シ此規則ト質造ノ度量ノ具ヲ用ヒシ者

ニ註誤ノ罪ヲ審判スル裁判所ニ於テ言渡ス可キ刑ト相抵觸スル事ナカル可シ千八百五十一年第三月二十七日廢ス

第六 法律ノ定則ト異ナリタル度量ノ具ヲ用フル者法律ニ從ヒ公然ニ定メタル價目録ニ記セシ定價以上ニ麵包及ヒ肉類等ヲ販賣セシ麵包ノ製造者及ヒ屠者

第七 ト筮及ヒ占夢ヲ職業トナス者

第八 住民ヲ驚ス可キ害アル噪鬧又ハ



夜間ニ噪鬧ヲ為ス首從

第九 官署ノ命ニ於テ為タル貼壁ノ示告ヲ除去シ及ヒ扯破セシ者

第十 他人ニ屬シタル地内ニ於テ殊ニ他人ニ屬シタル人造ノ草類ノ生シタル地、又ハ葡萄園、楊ヲ種植セシ地又ハカプリエール木名、橄欖、棗、石榴、橙及ヒ其種類ノ樹木等ノ萌芽ノ生シタル地及ヒ其他ノ人造ヲ以テ萌芽ヲ生セシメタル木ノアル地又ハ養樹園等ノ中ニ

何ノ種類ヲ問ハス獸類ヲ牽キ入レシ者

第十一 何ノ方法ヲ問ハス大道ヲ毀テ又ハ其道幅ノ定度ヲ侵占セシ者

第十二 習慣ニテ許シタル事ナキ地ニ於テ特ニ官署ノ許ヲ得ル事ナク大道ニアル草ノ生シタル土塊、泥土及ヒ石等ヲ盜ミ又ハ「コムム」ニ屬スル地ニ於テ泥土、木材、石等ヲ盜ミシ者

此等ノ者ハ十一「フラン」ヨリ少カラス十五



「シランクヨリ多カスサル罰金ノ言渡ヲ受ク  
可シ」

第四百八十條

- 第一 前條ノ第三ニ記シタル場合ニ於テ他人ニ屬シタル禽獸ヲ殺シ又ハ傷ケシ者
- 第二 贋造ノ度量ノ具ヲ所有スル者
- 第三 法律ノ定則ト異ナリタル度量ノ具ヲ用ヒシ者及ヒ前條ノ第六ニ記シタル罪ヲ犯セシ麵包ノ製造者及ヒ屠

者

第四 占夢者

- 第五 人ニ害アル噪鬧及ヒ夜間ノ噪鬧等ヲ為ス首從

此等ノ者ハ其罪犯ノ情狀ニ從ヒ五日ヨリ多カラサルニ至ル迄ノ時間禁錮ノ刑ニ處セラ  
ル可シ

第四百八十一條

- 第一 贋造ノ度量ノ具及ヒ法律ノ定則ト異リタル度量ノ具



第二 ト筮又ハ占夢ノ職業ヲ為スニ用  
ヒ又ハ用フ可キ器具及ヒ衣服

此等ノ物ハ沒收セラル可シ

第四百八十二條 第四百七十九條ニ記載シタ  
ル場合ノ各人ニ於テ再犯ノ罪アル時ハ毎ニ  
五日ノ時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

前三款ニ通スル規則

第四百八十三條 犯人ニ於テ前ノ十二月内ニ  
或ル裁判所ノ管轄内ニ於テ註誤ノ罪ヲ犯ス  
ニ因リ裁判ヲ受ケタル後ニ其裁判所ノ管轄

内ニ於テ再々其罪ヲ犯セシ時ハ此篇ニ開載  
シタル何レノ場合ニ於テモ罪ノ再犯ナリト  
ス

此篇ニ開載シタル何レノ註誤ノ罪ニ於テモ  
第四百六十三條ニ記載セシ規則ヲ適當シテ  
用フ可シ

總規則

第四百八十四條 何レノ事ニ於テモ此刑法ニ  
於テ定メタル事ナク他ノ法律ニ循ヒ定ム可  
キ事ハ裁判所ニ於テ其法律ニ循フ可シ



大寫字生辻士革筆受

佛蘭西刑法五  
大尾

法律書



